



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社キャンドウ
 コード番号 2698 URL <http://www.cando-web.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）城戸 一弥
 問合せ先責任者（役職名）管理部 部長（氏名）飯田 徹 TEL 03-5331-5124
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	18,839	0.6	627	29.8	651	28.4	315	36.8
2020年11月期第1四半期	18,732	5.6	483	2.8	507	0.2	230	△19.2

（注）包括利益 2021年11月期第1四半期 320百万円（13.3%） 2020年11月期第1四半期 282百万円（△4.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	19.78	19.78
2020年11月期第1四半期	14.48	14.45

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第1四半期	29,972	12,760	42.6
2020年11月期	28,379	12,575	44.1

（参考）自己資本 2021年11月期第1四半期 12,753百万円 2020年11月期 12,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2021年11月期	—	—	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	8.50	—	8.50	17.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	37,100	0.7	1,020	14.4	1,060	13.4	419	0.3	26.31
通 期	74,100	1.5	1,692	8.6	1,772	7.8	463	5.2	29.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・無
 ③ 会計上の見積りの変更： 有・無
 ④ 修正再表示： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期1Q	16,770,200株	2020年11月期	16,770,200株
② 期末自己株式数	2021年11月期1Q	821,737株	2020年11月期	844,737株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期1Q	15,936,196株	2020年11月期1Q	15,917,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年12月1日から2021年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、緩やかな経済の回復が続いておりましたが、緊急事態宣言の再発令により、景況感が急速に悪化しました。

小売業界におきましては、マスクや衛生関連商品の需要が増加した一方、緊急事態宣言の再発令による活動制限や外出の自粛による経済停滞のマイナス影響により、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは、さらなる成長を実現するために、2021年11月期からの3ヶ年について定めた中期計画『Next3』の推進をしております。当連結会計年度におきましては、「顧客満足度」を追求し、お客様の目線による「商品」と「店舗」のブラッシュアップを重ね、確実な品揃えと快適で利便性の高いお買い物空間の提供に取り組んでまいりました。また、他価格帯商品のラインナップの拡充、契約形態の多様性による積極的な出店やリニューアルも継続してまいりました。

出店・退店につきましては、大手法人企業との連携強化を図り、フランチャイズ契約等による出店を推進し、商業施設・路面店については直営店舗を主軸として出店を推進し、店舗数の純増と収益拡大の実現に努めてまいりました。新規出店数は、29店舗(直営店10店舗、F C店19店舗)、退店が15店舗となり、店舗数は14店舗の増加となりました。これにより、当第1四半期連結会計期間末における店舗数は1,079店舗(直営店711店舗、F C店361店舗、海外F C店7店舗)となりました。

商品につきましては、『お客様のニーズに対応する品揃え』を軸に、新商品開発と、付加価値向上への取り組みに推進してまいりました。新商品開発におきましては、他価格帯商品の拡充、新しい生活様式に対応する商品開発及びシーズンディレクションマップに基づく商品開発を推進し、お客様のニーズに対応する確実性の高い商品化に努めてまいりました。また、付加価値向上への取り組みにおきましては、商品ラインナップの拡充と品揃えの精度向上、グループ企業活用による商品調達力の強化に努めてまいりました。SNSによる情報発信と情報分析は継続して推進し、「キャンドウ」ブランドの認知度向上と付加価値向上を図ってまいりました。

売上高に対する原価率は、他価格帯商品の導入や出店強化を進めるF C店の売上構成比が上昇したことにより、前年同期比では、0.4ポイント増の61.7%となりました。

店舗につきましては、『お客様の期待に応え続ける店舗づくり』を軸に、店舗における「品揃え」・「接客」・「利便性」の向上に努めてまいりました。品揃え面では、POSデータと本部情報を活用し個店ごとの品揃えと在庫量の最適化を推進してまいりました。接客面では、目指す接客の在り方を明確化し、全店に浸透させる教育体制の基礎作りに努めてまいりました。また、利便性の面では、決済手段の拡充を図るとともに、提供する価値を全国のお客様にお届けすべくパートナー企業様との協業等による出店を推進してまいりました。需要の高いマスク・除菌関連を中心とした衛生関連商品等の販売を強化するとともに、生活必需品の継続供給に努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言が再発令され、外出の自粛や都道府県を跨いだ移動の減少による大都市店舗の売上減少、テナントとして出店している商業施設の営業時間の短縮などの減少要因もあり、直営既存店売上高につきましては前年同期比で、98.4%となりました。

販売費及び一般管理費合計の売上高比率は人件費の減少により、前年同期比で1.1ポイント減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高188億39百万円(前年同期比100.6%)、営業利益6億27百万円(前年同期比129.8%)、経常利益6億51百万円(前年同期比128.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億15百万円(前年同期比136.8%)となりました。

各事業の経営成績は、直営店売上高161億84百万円(構成比85.9%、前年同期比98.0%)、F C店への卸売上高23億3百万円(構成比12.2%、前年同期比116.1%)、その他売上高3億51百万円(構成比1.9%、前年同期比148.7%)となりました。

なお、セグメントの実績については、当社グループは単一セグメントのため記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は299億72百万円であり、前連結会計年度末に比べ15億92百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「現金及び預金」が8億61百万円増加、「未収入金」が6億40百万円増加したこと等が挙げられます。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は172億11百万円であり、前連結会計年度末に比べ14億7百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、「電子記録債務」が20億35百万円増加、「未払法人税等」が2億91百万円減少したこと等が挙げられます。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は127億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億84百万円増加いたしました。自己資本比率は42.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の業績予想につきましては、2021年1月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,283	5,145
売掛金	748	758
商品	6,256	6,254
未収入金	1,976	2,616
その他	662	676
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	13,906	15,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,294	5,360
その他(純額)	1,223	1,213
有形固定資産合計	6,517	6,573
無形固定資産		
	691	657
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,471	5,535
その他	1,808	1,795
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	7,264	7,315
固定資産合計	14,473	14,546
資産合計	28,379	29,972
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,782	3,716
電子記録債務	4,919	6,955
未払法人税等	596	304
賞与引当金	3	99
資産除去債務	29	17
その他	1,993	1,603
流動負債合計	11,324	12,697
固定負債		
退職給付に係る負債	2,097	2,128
資産除去債務	1,762	1,773
負ののれん	247	238
その他	372	375
固定負債合計	4,479	4,514
負債合計	15,804	17,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,028	3,028
資本剰余金	3,068	3,075
利益剰余金	7,682	7,862
自己株式	△1,210	△1,177
株主資本合計	12,569	12,789
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△4	△8
退職給付に係る調整累計額	△36	△27
その他の包括利益累計額合計	△41	△35
新株予約権	46	6
純資産合計	12,575	12,760
負債純資産合計	28,379	29,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	18,732	18,839
売上原価	11,486	11,625
売上総利益	7,245	7,213
販売費及び一般管理費	6,761	6,585
営業利益	483	627
営業外収益		
受取事務手数料	3	3
負ののれん償却額	9	9
その他	13	13
営業外収益合計	26	25
営業外費用		
為替差損	0	0
雑損失	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	507	651
特別利益		
受取補償金	29	15
新株予約権戻入益	8	—
特別利益合計	37	15
特別損失		
固定資産除却損	20	15
減損損失	103	98
特別損失合計	123	113
税金等調整前四半期純利益	422	552
法人税等	191	237
四半期純利益	230	315
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	315

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	230	315
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	△3
退職給付に係る調整額	51	9
その他の包括利益合計	52	5
四半期包括利益	282	320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	282	320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、当社グループにおける一部の販売商品やお客様の来店動向等が変化しております。当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、緊急事態宣言が発令された期間内における店舗の営業状況等を踏まえ、当四半期連結財務諸表作成時までに入手可能であった3月以降の店舗売上等の実績を考慮し、当第1四半期連結累計期間の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、日用雑貨及び加工食品の小売店舗チェーン展開を主たる目的とした単一事業であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。